

どこまでも続くブナ原生林

白神岳避難小屋

Siragamidake-Hinangoya

建築年 1986年(昭和61)
 収容人数 15人

白神岳



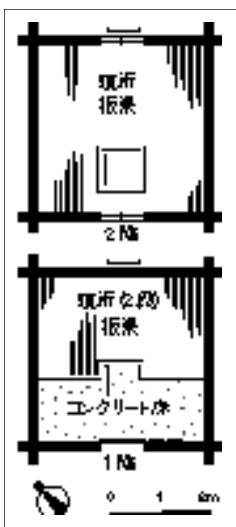
青 森県と秋田県にまたがる広大な白神山地のブナ原生林が、1993年(平成5)世界遺産に登録された。これにより、近年この山域への入山者が急激に増えた。

白神岳避難小屋は、白神山地の盟主的存在の白神岳山頂北側の平坦地に建つ。小屋の建つ山頂付近は森林限界を超え、低灌木とササ原が広がる。西側には日本海、東側には白神山地の峰々のブナ原生林が果てしなく続き、眺望はあまりにも感動的だ。

なお、この小屋を利用すれば、東方の向^{むかい}白神岳や北方の十二湖方面への縦走などが存分に楽しめるだろう。



小屋内部



白神岳避難小屋と別棟トイレ(左)

位置 JR五能線黒崎駅から東に約3kmの日野林道終点が登山口、駅から車で15分、登山口から^{この}嶺山を経て3時間30分の山頂手前(北側) 標高1230mに位置する。

小屋構造 角材ログハウス2階建(1階2段ベット構造) 銅板葺
管理 通年無人開放・無料だが「善意の箱」の募金箱あり、小屋を維持するためのものを志を入れる。

備品 救急箱、掃除用具

水場 山頂直下東側へ50m下り沢水(小屋から往復10分)

トイレ 北側30mに別棟トイレ 1997年(平成9)新築

